

弥勒菩薩の教え 法相宗 法隆寺 薬師寺

この ゆえ くう なか しき なく じゅ そう
是の故に空の中には 色も無く 受も想も

ぎょう しき な げん に び ぜ っ しん に な
行も 識も 無く 眼耳鼻舌身意も 無く

しき しょう こう み そ く ほう な がん かい な ない し
色聲香味觸法も 無く 眼界も 無く 乃至

い し き かい な
意識界も 無く

〔解説〕 この世のあらゆる物は、心の影
であり空である。だから固定した五蘊とし
ての色(物質)も受(感覚)も想(思い)も行(意
志)も識(感覚的な心の作用)も無いのである。

しかし、仏は慈悲により、この世が相
状であるとして、正因正果の理を示された。

すなわち、他人は自分の心の影であるか
ら、自分の心を清める為には、他人を救済
しなければならない。